



NEWS RELEASE

No.2004-C-581
2004年10月25日

【格付け変更】 水資源機構

長期優先債務格付け： AA AA+

格付投資情報センター(R&I)は、上記につき格付けを発表しました。

【格付け変更の理由】

今回の格上げは特殊法人から独立行政法人に移行し、事業継続や国による資金支援の安定性が中期的に確保されたことを反映している。

水資源機構の担う利水・治水事業は国民の生命に直結する重要な政策であり、今のところ機構の政府との一体性はとても高いと判断できる。施設建設資金の回収に伴うリスクも小さい。しかし今後、徐々に大型施設の建設が減り、機構の役割が施設の維持・管理と地方自治体間の調整に比重が移っていくのに伴い、現在の機構の規模・組織を維持する必要性が薄れることも考えられる。機構機能の重点が変化することで、機構業務を担保している政府による財政支援など現行制度の枠組みが長期的に変わる可能性も否定できない。もっとも機構の役割の変化や制度変更があるとしても、その進み方は緩やかで、中期的に機構の償還能力が大きく低下する可能性は極めて小さいだろう。

【格付け対象】

発行者：水資源機構

名称	格付け			
長期優先債務格付け	AA AA+			
名称	発行総額	発行日	償還日	格付け
	(百万円)			
第1回水資源開発債券	10,000	2001年12月3日	2011年9月20日	AA AA+
第2回水資源開発債券	13,000	2002年6月24日	2012年6月20日	AA AA+
第3回水資源開発債券	13,000	2003年7月1日	2013年6月20日	AA AA+

長期優先債務格付けとは、発行体の負うすべての金融債務について回収の程度を考慮する前の、総合的な履行能力についてのR&Iの評価である。

この格付けは、原則として全ての発行体に付与される。個々の債券の格付けは、契約の内容等を反映し、長期優先債務格付けを下回る、または上回ることがある。